

春

Spring

春の野原は、さまざまな種類の野花が競つように咲き、まるで花畑のよう。花に誘われて、チョウやハチなどの昆虫もたくさん訪れます。

ヤハズエンドウ

シロツメクサ

ムラサキケマン

ハナイバナ

キュウリグサ

イヌガラシ

キツネアザミ

イヌナズナ

ハハコグサ

ホトケノザ

ハルジオン

夏

Summer

クサノオウ

ネジバナ

ヘクソカズラ

イタドリ

ヒメジョオン

花は少なくなるものの、たくさんの虫たちの姿があり、とても賑やか。草の生い茂る野原は、多くの生きものを育む大切な空間のひとつです。

秋

Autumn

チカラシバ

キンエノコロ

セイカアワダチソウ

アキノノゲシ

ススキ

「実りの秋」は野原にもやってきます。よく観察すると、多くの草の実を見つけることができます。あの「ひつつき虫」も草の実です。

野原の植物

土の湿り具合によって「乾いた野原」と「湿った野原」の2つのタイプに分けられ、それぞれ生える草の種類は少し異なります。公園の芝生広場などは「乾いた野原」の環境で、ニワゼキショウやネジバナなどの乾燥地を好む

草が見られます。一方、ふだん乾いていても雨が降るとしばらくぬかるむような場所は「湿った野原」です。サギゴケやヘビイチゴ、ノチドメなど、日当たりのよい湿地に生える草が多く生えています。

いわゆる原っぱや草むらのことです。草を主体とした場所で、木はほとんどありません。植生をかたちづくる基本種として、シバ、チガヤ、ススキなどがあり、これらは草の高さや土の湿り具合、草刈りの回数などによって変わります。最近は外来種の割合が増え、日本在来の野原の植物は、すいぶん少なくなっていました。

